

講習会 第14回技術としての分散系レオロジー

主催：日本レオロジー学会

協賛：化学工学会，紙パルプ技術協会，高分子学会，色材協会，日本印刷学会，日本化学会，日本材料学会，日本塗装技術協会，日本バイオレオロジー学会，日本油化学会（協賛依頼中）

日時：2015年7月10日（金）9:15～16:30

会場：京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）4階 第4,5会議室
〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 <http://heartpia-kyoto.jp>

主旨：液体中に分散した微粒子や液滴はコロイド化学的な相互作用により凝集するが，塗料，インキ，化粧品，食品など工業分野では微粒子や液滴を様々な手段を使い分散安定化して利用している。さらに，粒子の流体力学的な相互作用を含めて静的な分散安定だけでなく動的な状態での分散系の特性を把握する必要があるが，動的な状態での解析方法として分散系レオロジーは大変重要な技術である。

本講座では，レオロジーの基礎から，分散安定性の評価方法，超音波を用いて粒子の挙動追う分散系の物性計測，分散系の性質を食品のテクスチャー制御へ応用する手法，微粒子分散系のレオロジー測定をプリンテッドエレクトロニクスに应用するための手法などを平易に解説する。

プログラム：

開会 9:15 ※会場への入場と当日受付は，8時50分より開始致します。

9:15～10:45 1. レオロジーなんかこわくない！～分散系をレオロジーで評価する～

上田レオロジー評価研究所 上田隆宣

10:45～11:45 2. ハイドロゲルを用いた分散系のレオロジー制御（仮）

三栄源エフ・エフ・アイ 船見孝博

11:45～12:45 昼休憩

12:45～13:45 3. 超音波散乱法を用いた微粒子分散系のマイクロ構造と力学物性の同時解析

京都工芸繊維大学 則末智久

13:50～14:50 4. 粒子分散系のレオロジー（仮）

神戸大学 菰田悦之

14:55～16:25 全員参加の質疑応答

(1) 講座全般に対して1人3問の質問を講義を聴きながら書き出してもらう

(2) 5～6人をグループとして，グループ討議をし，1グループ3問の質問にする

(3) 全てのグループの質問を一覧一覽できるように書き出す

(4) 講師全員で質問に答えて行く

16:30～18:30 懇親会

参加費：主催・協賛学協会会員 20,000円，主催・協賛学協会会員学生会員 10,000円，一般 30,000円

懇親会参加費：3,000円 ※任意参加です。

申込締切：2015年7月2日（木）

定員：70名

申込方法：学会HPの申込フォーム（<http://goo.gl/Q919hs>）または，下記申込書よりお申込みください。

①日本レオロジー学会賛助会員の事業所よりお申し込みの場合は，参加者が非会員であっても会員として取り扱います。

②参加費のお支払いは2015年7月31日（金）までに銀行振込，もしくは，郵便振替でお願い致します。

銀行口座：三菱東京UFJ銀行 出町支店 普通 4192464

郵便振替口座：01040-6-17564

名義：一般社団法人 日本レオロジー学会（イッパソシヤダシホウジン ニホンロジカケツカイ）

③申込者には参加証（名札），テキストを事前に送付いたします。

お問合せ先：一般社団法人 日本レオロジー学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町 93 番地 京都リサーチパーク 6号館 3F

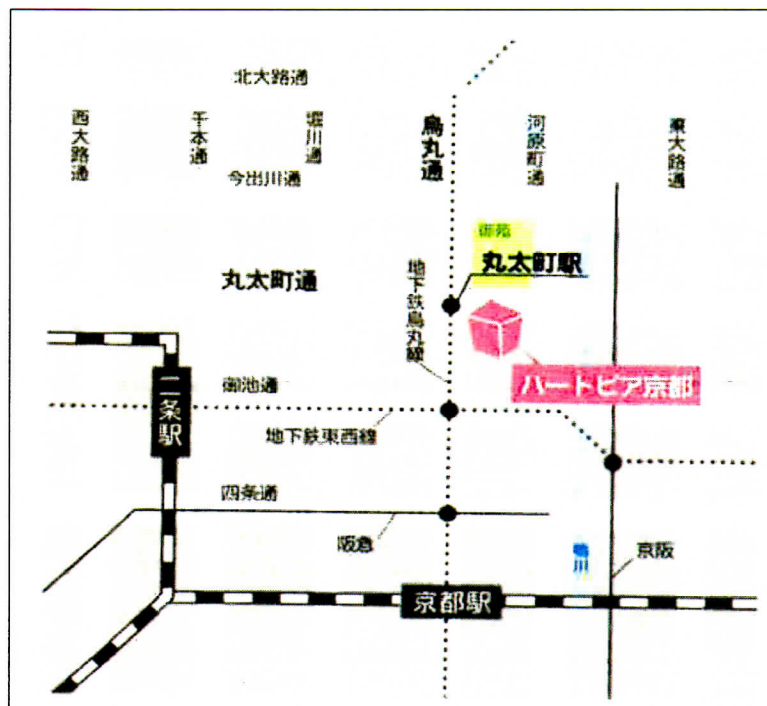
E-mail:office@srj.or.jp TEL: 075-315-8687 FAX: 075-315-8688

交通案内：京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車⑤出口（地下鉄連絡通路にて会館と直結）

京都市バス・京都バス・JRバス「烏丸丸太町」下車

会場地図：京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地

TEL 075-222-1777 FAX 075-222-1778



「講習会：第 14 回技術としての分散系レオロジー」参加申込書

会社事業所名		所属学協会	
所在地 〒			
E-mail:			
電話:			
会 員（主催・協賛学協会会員）	20, 000 円 ×	名	
学生会員（主催・協賛学協会学生会員）	10, 000 円 ×	名	
一 般	30, 000 円 ×	名	
懇親会について（一方に○して下さい）	参加・不参加	3, 000 円 ×	名
振込予定日： ____ 月 ____ 日			
請求書： 要・不要（一方○して下さい）			
受講者名		受付番号*	
1.			
2.			
3.			

*印記入不要